

4歳児

4歳児の発達

このころは・・・「こうありたい」「もっとこうしてみたい」という願いを持つようになりますが「やりたいけどうまくいかない」と現実とのギャップに悩む姿もあります。それを乗り越えていくことで自分への自信をつけていく時期です。

生活の仕方や、必要性がわかると進んで身の回りのことをしたり、苦手なものも食べてみようとしたりして、自分の身体のことを考える力がついてきます。また、できごとの理由を尋ねられると、自分なりに考えて答えられるようになります。（例えば身体の不調等もことばで伝えられるようになってきます。）

運動面では、自分の頭で考え、自分の身体を動かしたり、ケンケンのように「～しながら～する」という2つの動作をコントロールしたりするようになります。また、利き手や利き足がはっきりしてきて、身体の動きが巧みになっていきます。

友達と楽しいことを共有し、憧れ、憧れられ、対等にぶつかり合ったり世話を焼いたりして、友達の思いにも気づきます。最初は互いに自分の主張が譲れずトラブルも起きますが、「友達と一緒に～したい」という思いをもって、譲ったり我慢したりできるようになってきます。

また、**知的好奇心**も旺盛になり、身近な自然に興味を持ち、疑問に思ったことを尋ねたり試したりするようになります。

こんな遊びをいっぱいしよう

- ・体を動かしてたっぷり遊びましょう。
- ・色々な遊具や用具に挑戦する楽しさを味わいましょう。
- ・砂・水・泥や木の実、草花など自然物と思う存分ふれあいましょう。
- ・空き箱や身近なもので、描いたり作ったりしましょう。

この頃の子どもの様子

友達と一緒にするのが楽しい！



挑戦意欲がわいてくる



「こんなふうになりたいな」と自分なりの目的をもって



気の合う友達・同じクラスの仲間

ことばが豊かになっていく体験を



思わず話したくなる

おうちの方や先生に自分の話を聞いてもらったり、絵本を読んでもらったりすることで、自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、友達の思いも聞こうとするようになってきます。いろいろなことに興味関心を広げ、自分が感じたことやできたことなどを言葉にして、相手に伝わることを喜ぶようになります。

こんなことあるある!



自分も悪いのに、相手のせいにして怒るのです。



ぼくよりも~ちゃんの方が悪いって思うんだよね。



隣にいる友達に何も話さず、もくもくと一人で遊んでいるように見えて…



友達のしていることを見ていて関心もあるんだよ。

人の思いや考えを理解しようとする力を育む

「自分の思いを通したい」「でも友達と一緒に楽しく遊びたい」という両方の気持ちの狭間で揺れる時期です。大人が解決しようとするのではなく「~って思ったのね。」と、本人の思いを十分に聞いてあげることが、人の思いや考えを理解していく力につながります。また、周りのことにも関心や疑問をもち、言葉が豊かになってきます。親子の会話や絵本の読み聞かせなど、一緒に話をする時間をつくってくださいね。



保育者より

体を動かす楽しさをたっぷり


4歳児


自分からやってみようとする



いろいろな運動遊びや運動遊具に興味を持ち、跳んだり、投げたり、走ったりして、楽しみながら様々な体の動きを身につけていきます。一緒に楽しんでくれる友達や、応援してくれる大人がいると、少し難しいことでもやってみようという意欲が生まれます。安全に楽しく遊ぶ方法を知り、守って取り組もうとしたり、自分なりのやり方を見ついたりします。

こんなことあるある!

 「鉄棒できた」と言ったけれど、それは何の技?自分流?

 やったらできるのに、なかなかやってみようとしません。



自分で考えた技ができた！
見て見て、すごいでしょ。



見通しが持てるようになってきたから、できないかもって思うんだ。

おうちの方は一番の応援団

「できるかな、でも、できないかもしれない」と、自分なりの葛藤をたくさん感じる時期です。そんな時はおうちの方も一緒にしてみたり、焦らず応援してあげましょう。また、力量よりも難しくすぎる運動を求めると、それだけで嫌になってしまうこともあります。「少しがんばればできた！」という手ごたえや自信が感じられることが大切です。子どもの気持ちに寄り添う、一番の応援団になってあげましょう。



保育者より

「自分から動き出せる」を支援して



バイキンばいば〜い

身の回りの始末や片付けなど、やり方がわかると、自分からやろうとします。自分でできることが嬉しく、手伝いなどもがんばることができます。砂・土・泥・水などの感触を楽しんだり、空き箱などの身近な材料を使って作ったものを「～みたい」と見立てることが増えてきて、自分なりに試したり工夫したり、繰り返し遊ぶようになります。

こんなことあるある!



いつまでたってもやろうとしない
ダラダラ～ぐずぐずが気になります。



いつになったら～するの?



園ではがんばってるんだよ。家ではちょっと甘えたいな。



わかっているけど、自分で決めたいの。

「自分で～って決めた」を大切に

集団の中でがんばっている子どもたちが、ほっとできるのはやはり家庭です。家で甘えが出るのも自然な姿です。「～しなさい」と押し付けすぎず、時には見守ってあげたり、自分で「どうするか」決めてもらったりしましょう。興味や関心が広がり好奇心も旺盛になります。お散歩しながら季節を感じたり、身近な自然やものに触れたりしながら親子で心を動かす経験をたくさんしてくださいね。



保育者より


「一緒だね・同じだね」でつながる

4歳児




友達のしていることを見て、同じことをやってみようとしたり、同じ物を使って遊んでみようとしたりします。仲の良い友達の姿を見て「おもしろそう」「やってみよう」と自分もやってみる姿もあります。また、苦手と感じていることも、友達の存在や言葉が気持ちの後押しをしてくれます。いざこざや喧嘩になることも増えてきますが、その中で自分の思いを出したり、友達の思いを感じたりしていきます。

こんなことあるある!

 一人で遊んでばかり…。
友達いないのかしら？



「これがやりたい！」という
気持ちがいっぱいなん
だ。心配しないでね。

 お友達と仲良く遊んでいるの？
ちゃんと自分の気持ちが言えてる
の？



けんかもするよ。でも嫌な
ことがあったら、ちゃんと
先生に言うからね。

友達とのかかわりは焦らずに

「友達と一緒に！」と焦らなくても、園生活の中で「友達と一緒に楽しい、嬉しい」と思えると、友達とかわっていきます。また、色々な心の葛藤も生じてきますが、揺れ動く気持ちに寄り添ったり、「どうしたらいいかな？」と子どもと一緒に考えたりして支えてあげましょう。



保育者より